

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】令和 5 年 8 月 30 日(2023.8.30)

【公開番号】特開 2023-86918(P2023-86918A)
【公開日】令和 5 年 6 月 22 日(2023.6.22)
【年通号数】公開公報(特許)2023-116
【出願番号】特願 2023-73559(P2023-73559)
【国際特許分類】

B 3 2 B 27/00(2006.01)

10

B 3 2 B 3/30(2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/00 E

B 3 2 B 3/30

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 8 月 10 日(2023.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

紙素材で形成された原反層と、

前記原反層の一方の表面に設けられた着色絵柄層と、

前記着色絵柄層の前記原反層とは反対側の面に設けられ、コア部及び前記コア部の一方の面から畝状に突出して設けられた畝状部を有し、表面に凹凸形状が形成された、材料の塗布量が 12 g/m^2 以上 25 g/m^2 以下である第一表面保護層と、
を備える化粧シート。

30

【請求項 2】

前記着色絵柄層と、前記第一表面保護層との間に設けられた透明層を備える
請求項 1 に記載の化粧シート。

【請求項 3】

前記第一表面保護層は、無機ナノ粒子を含まない(メタ)アクリル系樹脂により形成されており、

前記畝状部は、等方的に並ぶランダムな微細構造を有し、

前記第一表面保護層の厚さは、 $1.0 \mu\text{m}$ 以上 $50 \mu\text{m}$ 以下であり、

前記畝状部の高さは、 $15 \mu\text{m}$ 以下であり、

前記畝状部の周期は、 $50 \mu\text{m}$ 以下である

40

請求項 1 又は 2 に記載の化粧シート。

【請求項 4】

前記畝状部は、前記コア部と異なる組成となっている

請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の化粧シート。

【請求項 5】

前記畝状部及び前記コア部は、樹脂材料により一体に形成されており、

前記畝状部は、前記コア部と比較して、前記樹脂材料中に含有されるカルボニル結合及び炭素-炭素結合の比率が低下した組成となっている

請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の化粧シート。

【請求項 6】

50

前記畝状部は、前記コア部と比較して、前記樹脂材料中に含有されるカルボニル結合及び炭素 - 炭素結合の比率が 10 % 以上低下した組成となっている
請求項 5 に記載の化粧シート。

【請求項 7】

前記畝状部は、前記コア部と比較して高い架橋密度を有する
請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の化粧シート。

【請求項 8】

前記畝状部の表面は、断面視で曲線形状である
請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の化粧シート。

【請求項 9】

前記第一表面保護層の前記凹凸形状形成面の一部に設けられた第二表面保護層を備える
請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の化粧シート。

【請求項 10】

前記第二表面保護層は、前記第一表面保護層の表面の 10 % 以上 80 % 以下を覆うように設けられている
請求項 9 に記載の化粧シート。

【請求項 11】

前記第一表面保護層は、艶調整剤を含有せず、
前記第一表面保護層の光沢度は、5.0 以下である
請求項 1 から 10 のいずれか 1 項に記載の化粧シート。

【請求項 12】

請求項 1 から 11 のいずれか 1 項に記載の化粧シートと、
前記原反層の前記着色絵柄層とは反対側の面に設けられた基材層と、
を備える化粧板。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記課題を解決するために、本開示の一態様に係る化粧シートは、紙素材で形成された原反層と、原反層の一方の表面に設けられた着色絵柄層と、着色絵柄層の原反層とは反対側の面に設けられ、コア部及びコア部の一方の面から畝状に突出して設けられた畝状部を有し、表面に凹凸形状が形成された、材料の塗布量が 12 g/m^2 以上 25 g/m^2 以下である第一表面保護層と、を備えている。

10

20

30

40

50